

定例委員会の開催状況

第1 日時 平成13年3月29日(木)
午前10時00分～午前11時30分

第2 出席者

1 国家公安委員会側

伊吹委員長

岩男、磯邊、渡邊、荻野、安崎各委員

2 警察庁側

長官、次長、官房長、生活安全局長、刑事局長、交通局長、
官房審議官(警備局担当)、情報通信局長

第3 議事の概要

1 議題事項

(1) 人事案件について

叙位・叙勲の進達について

警察庁から、「2月22日から28日までの7日間に死亡した現職警察職員3人、元警察職員41人及び部外者1人の計45人の叙位・叙勲について進達することとしたい。」旨の説明がなされ、原案どおり決定した。

地方警務官の人事異動について

警察庁から、「3月23日付け地方警務官(死亡)1人の人事異動について、発令していただきたい。」旨の説明がなされ、原案どおり決定した。

(2) 国家公安委員会・警察庁決裁区分について

警察庁から、「国家公安委員会の審議の充実及び行政事務の効率的運営に資するため、行政機関の保有する情報の公開に関する法律の施行に伴い、情報公開関連法令に基づき国家公安委員会委員長の権限に属させられた事項について、国家公安委員会の決裁が必要なものと警察庁において専決処理する事項との区分及び整理等を行うものである。」旨の説明がなされ、原案どおり決定した。

(3) 国家公安委員会・警察庁における情報公開法審査基準案について

警察庁から、「いわゆる情報公開法に基づく開示請求に対する開示・不開示の決定については、各行政機関において審査基準を策定し公表することとされていることから、国家公安委員会及び警察庁において、同法の運用の基準及び具体例を記述した『国家公安委員会及び警察庁における情報公開法審査基準』を策定することとしたい。」旨の説明がなされ、原案どおり決定した。

委員から、「この際、記録に留めておいていただきたいことが二つある。ひとつは、国家公安委員会の会議録は、前々回の公安委員会でも指摘したように、単純な事実確認的な質問も含め、様々な議論、質問、説明などが行われているために、会議録には必ずしも全ての発言内容を記録として留めてあるわけではなく、主なもの、それも、概要、あらまし、発言の大意を載せているものである。この点について誤解のないよう確認しておかなければならない。もう一つは、公安委員会の会議録を読む場合に、この会議録の作成手続が最近になって変更になったということを理解していただく必要がある。昨年10月ごろまでは、警察庁側の議題説明内容が欠落している上に、会議録の作成は内容やその表現など警察庁にすべて委ねられており、委員は作成過程には関与していなかった。また、一昨年10月ごろ以前は委員が申し述べたことに対して、多くの場合、単に、『警察庁は説明した。』としか議事録に記録されていなかった。この点については、委員会の席

上指摘して改めていただいたものであり、その後、更に詳細に改善されている。現在は、委員が会議録の調製段階で質疑状況の発言内容を確認して、その上で会議録が作成されるようになっている。このような会議録のまとめ方の大きな違いを、会議録を閲覧する人々に十分理解していただかないと誤解されることになる。」旨の発言があった。

(4) 国家公安委員会への意見・要望文書等の措置について

国家公安委員会のインターネット・ホームページの受信電子メール、書簡等について閲覧し、回答を要するか否かの判断を行った。回答を要するものについては、その内容を一部修正のうえ了承した。

2 報告事項

(1) 警察庁における文書の管理に関する訓令案について

警察庁から、「いわゆる情報公開法において、行政機関の長は行政文書の管理に関する定めを設けることとされていることから、警察庁が保有する行政文書の管理について、警察庁における文書の管理に関する訓令を制定するものである。」旨の報告がなされた。

(2) 国会の状況について

警察庁から、「3月22日から28日までの間に行われた衆議院内閣委員会、参議院予算委員会の状況等」について報告がなされた。

(3) 営団地下鉄日比谷線中目黒駅付近における列車脱線衝突事故について

警察庁から、「警視庁は、昨年3月8日発生した営団地下鉄列車脱線衝突事故について、3月27日、営団幹部等5人を業務上過失致死傷及び業務上過失往来危険で、東京地方検察庁に送致した。」旨の報告がなされた。

(4) 「平成13年春の全国交通安全運動」の実施について

警察庁から、「本年春の全国交通安全運動は、4月6日から15日までの10日間実施される。今回の運動の重点は、自転車の安全利用の推進、シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底、である。」旨の報告がなされた。

委員から、「重点目標の一つとして、『シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底』が掲げられているが、以前、委員会においてチャイルドシートの着用率が低調であるとの報告を受けた際に、私は具体的対策なしに『徹底できていない。』という数字の報告で事足りりとしているのは問題だという意味の発言をしたことがある。これに関し、埼玉県警察で非常にいいアイデアの施策が講じられている。ガソリンスタンドは必ず車のドライバーが立ち寄る所であるが、その従業員を研修して、チャイルドシートの着用指導のアドバイスをできるようにしている。素晴らしいアイデアと思う。警察庁においても、ガソリンスタンドの従業員を研修し、チャイルドシート着用のアドバイスができるよう、これを全都道府県警察に広めることを是非考えていただきたい。」旨の提案があり、警察庁から、「チャイルドシートの着用の徹底を図るためには、指導できる指導員を養成するということが、ひとつの大きな課題であるので、車のディーラーとかガソリンスタンドの職員の方々に、チャイルドシートの正しい着け方そのものを教育して、指導者として指導できるよう各自治体等と警察が協力して指導員講習教室のようなものを実施してきているところである。委員の御指摘のように、ドライバーは必ずガソリンスタンドに立ち寄ることから、このようなガソリンスタンド職員への講習を自治体と警察とで協力し強化していきたい。」旨の説明があった。

(5) 名古屋南部の道路交通環境対策の推進に係る当面の取組みについて

警察庁から、「名古屋南部地域における道路交通環境の状況等にかんがみ、道路交通環境対策関係4省庁局長会議を開催し、名古屋南部

地域及び全国における大気汚染の改善のための当面の取組みについて取りまとめを行うこととした。」旨の報告がなされた。

(6) 皇太子同妃両殿下の「第34回太平洋小児外科学会議」御臨席等(京都府)に伴う警衛警備について

警察庁から、「皇太子同妃両殿下は、来る4月4日から6日までの間、『第34回太平洋小児外科学会議』御臨席等のため、京都府へ行啓になる。本行啓に伴い、京都府警察を始めとする関係警察では、所要の体制を確立して警衛警備を実施することとしている。」旨の報告がなされた。

(7) 平成13年(2001年)芸予地震発生と警察措置について

警察庁から、「3月24日、安芸灘を震源とする震度6弱の地震に際して、警察は、直ちに体制を確立して、地震発生直後から警察ヘリコプター等により被災情報を収集するとともに、被災地域の警戒活動、交通規制、行方不明者の捜索活動等を実施した。」旨の報告がなされた。

委員から、「阪神淡路大震災と比較すると、地震規模の割に被害が少なかったというのは、人口の密集度とか、地震の対応の違いもあるかも知れないが、警備の仕方も随分変わってきているのではないかと想像する。阪神淡路大震災の経験を生かして、今回特にうまくいったことは何か、また反省すべき点はあったのか。」との質問があり、警察庁から、「良かった点は、阪神淡路大震災の反省教訓から、土曜日の発生にもかかわらず、警察の立ち上がりは早かったことがあげられる。全国の都道府県警察に広域緊急援助隊を設置し、いついかなるときでも、緊急出動に備えている。今回は待機にとどまったが、体制的には確立していた。テレビ搭載ヘリコプターの活用により情報収集も円滑に行われた。一方、反省点は現在のところ思い付かないが、あえて言うと死者の認定などの統計数字が、消防に比べ若干遅いのではないかと思う。この辺の調整をして早く官邸に情報を入れたいといけな

いと考えている。」旨の説明があった。

委員長から、「阪神淡路大震災のときは、全ての体制が今に比べ不備であった。官邸に常駐している情報の受け手がまずいない。官邸への情報も非常に遅かったので対応が遅れた。その反省から、情報が全て内閣情報官という官房長官の管轄下にある部署に要員が24時間体制で情報の受け手として常駐している。私の印象からすると、今はそこへ情報が素早く入ってくる。情報がたくさん入りすぎて、情報の選別機能が必ずしも十分でないということはあるが、今回は、情報収集が早く関係機関も比較的早く対応したと思う。」旨の発言があった。

(8) 警察庁長官狙撃事件について

警察庁から、「警察庁長官狙撃事件は、現在、警視庁において、所要の捜査を推進しているところであり、また全国警察においても、本件関連情報の収集に努めるとともに、長官狙撃事件とオウム真理教との関係の解明を図るためにも、現在逃走中のオウム真理教関係警察庁指定特別手配被疑者の検挙に向け全力で取り組んでいるところである。」旨の報告がなされた。

(9) 日本赤軍関係者の逮捕及び関係箇所の捜索について

警察庁から、「3月24日、警視庁・大阪府警察合同捜査本部は、重信房子に対する犯人蔵匿容疑で日本赤軍関係者を逮捕するとともに、元勤務先等関係箇所2か所に対する捜索を実施した。」旨の報告がなされた。